



## 可能性への希望という物語

校長 菅原 桂吾

令和4年1月13日、本校関係者から初めての新型コロナウイルス感染症の陽性者1名が確認され、また、同時に複数名が濃厚接触者、接触者となり、自宅療養を余儀なくされることになったため（全員PCR検査は陰性）に、翌日から始まるはずの本校舎及び千厩分教室小学部を休校することにいたしました。幸い、本校舎は1日、ハピきは2日の休校で済みましたが、それ以後も、家族が濃厚接触者、接触者となった、PCR検査のため等々で、学校を休まざるを得ない子どもたち及び職員が相次ぎました。ウイルスの感染力の強さを思い知らされ、なかなか心休まらぬ日が続きます。変異株の亜種も発見されるなど、どこまで行っても出口が見つからない道を歩かされ続けているようで、徒労感に腹立たしくなりますが、コロナ終息を信じ、念じながら、子どもたちの健康をまずは第一に、日々の教育活動の充実に努めてまいります。

さて、北京冬季オリンピックが開催されたばかりですが、今回は、先月末に行われた全日本卓球選手権大会のお話です。この大会では、伊藤美誠選手が3年ぶり3度目の女子シングルス優勝を果たし、女子ダブルスとの2冠に輝きました。昨年の東京オリンピックでは、金メダルを獲得した伊藤選手ですが、その後、昨年11月米国で行われた世界選手権大会では、打倒中国を目標に挑みながら、シングルスで中国選手に敗れてしまい、強いショックを受けたそうです。帰国後に思考を整理し、「勝つ卓球ではなく、負けない卓球をしていた」と自己反省。それからは、勝つための自分の強みは何か、勝つために必要なことは何かを突き詰めて考え、相手を翻弄する独創的なプレーこそが自分の強みと再認識し、対応力ある戦術に磨きをかけるべくトレーニングに励み、全日本の舞台に臨み、優勝を手にすることができたのだそうです。

しかし、今回の心の整え方や見つめ直したスタイル、練習が奏功したからと言って、次もまた勝ち続けられるという保証は、おそらくないでしょう。次の壁に直面した時に、経験、知見を活かしながら、新たに進化したスタイルを模索し、それに自分をどれだけ変容させられるかが問われてくるのでしょうか。

運動に限らずあらゆるジャンルにおいて、真剣に勝負に挑む者、何かを極めようとする者とは、すべからくそうした強靱な克己心を有し、その解答のない、エンドレスのストレスに耐えうる精神力と実行力の持ち主なのでしょう。せめて観る側、享受する側の我々のたしなみとして、そうした熱い思いの体現者への敬意を忘れずにいたいものです。そしてまた、今在る自分を乗り越えようと行動する者が歩んできた道には、耳を傾けるべき物語がいくつも立ち上がっていることもまた、忘れてはなりません。その物語にはきっと、可能性を信じ挑戦する人の葛藤と決断が語られていて、より良い明日を信じ、希求する者の気持ちを後押ししてくれるはずです。

## 本校舎幼稚部



幼稚部3名は元気に冬を楽しんでいます。  
お天気の良い日は外で雪遊び。そりすべりや雪だるま作り、旗取り競争など、寒さなんて、へっちゃら。体をいっぱい動かしています。

2月3日はドキドキの豆まき会。赤鬼と青鬼の登場に、泣くのをこらえて豆をまきました。

## 本校舎小学部

冬休みの体験発表会で、絵日記や工作、自由研究について、発表しあいました。みんな集中して見たり聞いたりし、質問や感想がたくさん出されました。

執行部役員の選挙があり、選挙活動や演説会、投票を経て、新役員3名が選ばれました。

全員の体育では、ボール運動をしています。ドリブルやパスなどを練習し、3対3でのバスケットボールらしいゲームにも取り組み始めました。



## 山目校舎小学部

なのはな学級では、2月2日、4日に低学年・高学年に分かれて、まつるバスノーランドでそり教室を行いました。「自分のそりは、自分で持って歩くこと」、「先生の話聞くこと」を目標に、安全に楽しく滑ります。低学年は、先生と一緒に滑ったり、一人で滑ったりしました。高学年は、座って滑ったり、うつ伏せに寝て滑ったり、仰向けに寝て頭から滑ったり、いろいろな滑り方を楽しみました。今年は、天気に恵まれ、絶好のグレンデコンディションの中滑ることができました。おうちの方が作ってくれたお弁当も最高でした。わかば学級では、2月3日に豆まき会をしました。豆まきの由来を聞いたり、歌を歌ったり、自分で作った鬼を披露したりしていると・・・鬼が登場！目を丸くしながら、「おにはそと！」と豆をまきました。大きい鬼を退治して、今年もいい年になりそうです。



## 千厩分教室小学部 ハピきら学級

1、2月は学年毎に千小のスケート教室に参加しました。スケートが初めての1年生はすごくドキドキ。さすが6年生は絶妙なバランスで見事な滑りを披露。みんな思い思いの滑りを楽しみました。そして2月といえば恒例の節分です。それぞれの追い出したい鬼を発表して豆まきの歌を歌っている時に『鬼』が乱入！勇気を出して「おには～そと～」、最後は仲良く記念写真を撮りました。



『お雑煮』  
訪問学級児童作



## 山目校舎中学部 お楽しみ会

12月17日は本校舎中学部と一緒にのお楽しみ会がありました。山目校舎中学部のメンバーは、「山中みんなに幸せはこび隊」としてトーンチャイムの演奏で「きよしこの夜」と、映画サウンドオブミュージックの曲にあわせて「ドレミの歌」をダンス付きの演奏を披露してきました。最初はちょっと緊張したようでしたが、だんだんに慣れ、本校舎の友達に盛り上げてもらって楽しく演奏することができました。



## 本校舎中学部 3年生を送る会

2月17日（木）、中学部最後の行事「3年生を送る会」が開催されました。今まで共に過ごしてきた3年生とももうすぐお別れ。下級生からは、感謝の気持ちを含めた踊りや歌、メッセージなどが披露されました。3年生からは、3年間の思いが述べられ、笑いあり、涙あり、感動ありの和やかな温かい会となりました。山目校舎中学部さんは、リモート参加となりましたが、3年生との思い出を胸に、残りの日々を大切に過ごしていきたいと思います。



## 千厩分教室中学部 みなトモ学級 千厩高校と交流

1/20(金)今年度2回目となる、千厩高校との交流学习を行いました。生産技術科草花分会の3年生8人が分教室に来校し、授業で取り組んでいるという『ドライフラワーのリース作り』を優しく教えてくれました。リース作りをしながら、「好きな音楽は？好きな食べ物は？」など、互いのことを紹介し合い、楽しい時間を過ごすことができました。



あすなろ分教室は、新型コロナウイルス感染症の感染状況をうけ、岩手病院の院内感染防止対策として、病棟と学校側との往来が制限されており、冬休み明け以降、授業を行えない状況が続いております。

在籍する児童生徒の健康状態は良好であるとの連絡は入っております。いち早い感染状況の終息を願うばかりです。



## 本校舎高等部 清掃講習会

1月25日(火)新生ビル管理株式会社より講師をお招きし、清掃講習会を実施しました。対象は、清掃業への就労を希望する生徒もしくは一般就労希望者で清掃に関心がある生徒とし、10名が講習を受けました。専門用具を使用した窓清掃について、清掃の職業技術者の方から直接ご指導いただき、真剣なまなざしで専門技術を学ぶ様子が見られました。



## 寄附物品贈呈式がおこなわれました

この度、東磐運送株式会社(代表取締役 菅原良徳)様から、地域貢献活動の一環として、「折りたたみネット太鼓橋1台」、「ジェットヒーター1台」及び「空気清浄機3台」を寄附したいとの申出があり、2月2日、本校舎多目的ホールにて、寄附物品贈呈式が行われました。

折りたたみネット太鼓橋は、幼稚部において体のバランス感覚の育成に大いに役立つものと考えられます。また、ジェットヒーターは、本校舎太鼓道場での冬季活動時の寒さ対策として、空気清浄機は、会議や集会活動等での使用頻度が高い場所(本校舎図書室、山目校舎音楽視聴覚室、あすなろ分教室ホール)においての活用が考えられ、花粉症等対策や新型コロナウイルス感染症対策としても効果が期待されるものです。ご寄贈頂いた品を活用して、よりよい教育活動をさらに進めてまいります。誠にありがとうございました。



設立65周年で  
太鼓など贈る  
千既・東磐運送が  
清明支援学校に  
一関市千既町の東磐運送  
(菅原良徳代表取締役)は  
2日、同社設立65周年記念  
事業の一環として県立一関  
清明支援学校(菅原桂吾校  
長)に折り畳みネット太鼓  
橋1台、ジェットヒーター  
1台、空気清浄機3台を寄  
贈した。



菅原代表取締役は「コロナも3年目になり相当苦労していると思う。皆さんには元気に学業に励んでもらい、豊かな未来に期待したい」と語っていた。  
同社は2016年にも同社設立60周年記念事業の一環として同校にプロジェクターなどの物品を寄贈している。

同日は菅原代表取締役ら3人が同市赤荻の同校を訪れ、菅原校長に目録を贈呈した。  
菅原校長は「長く大切に使いながら、子供たちのために有効活用させていただきたい」とあいさつ。同校の児童生徒を代表し、高等部生徒会長の千葉博貴さん(17)は2年IIが「寄贈をしていただきありがとうございます。授業や生活で大事に使っていきたいと思えます」とお礼の言葉を述べた。

岩手日日新聞2月3日(木)  
記事冒頭に「太鼓」とありますが、正しくは「太鼓橋」です。